



※ 2025 ※

4/12 SAT

6/29 SUN

10:00~18:00  
(最終入館は17:30)

会期中の休館日  
4/22(火)  
5/26(月)・27(火)  
6/23(月)・24(火)

# 本を捧ぐ

文京区立  
森鷗外記念館

特別展

鷗外と  
献呈本

一般 600円  
(中学生以下無料)

◆ 20名以上の団体は2割引 ◆ 障害者手帳ご提示の方と介護者1名まで無料 ◆ 文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、友の会会員証ご提示で2割引 ◆ その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。

文京区立  
森鷗外記念館  
展示室1・2

〒113-0022

東京都文京区千駄木1-23-4

☎03-3824-5511

<https://moriogai-kinenkan.jp>

監修

須田喜代次

大妻女子大学名誉教授  
森鷗外記念会会長

出品協力

東京大学総合図書館

川島幸希

公益財団法人日本近代文学館

県立神奈川近代文学館

鷗外に贈られた本の一部(撮影:カワワークス)

上:北原白秋訳「まざあ・ぐうす」アルス 大正10年 白秋による鷗外への献呈本を次女・杏奴に贈ったもの。

下:(左から) 夏目漱石「彼岸過迄」/夏目漱石「門」/杉浦翠子「藤浪」/鈴木三重吉「古事記物語」下巻

北原白秋訳「まざあ・ぐうす」/北原白秋「雀の卵」/富士川游「日本疾病史」/Carl Cappeller, Sanskrit - Wörterbuch / Hans Meyer, Eine Weltreise



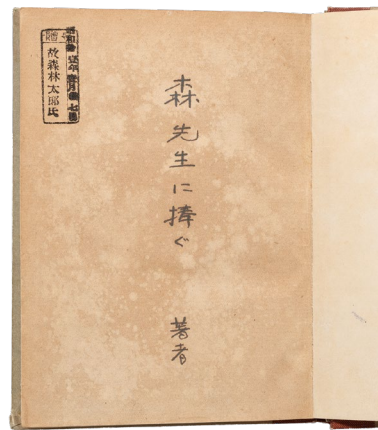
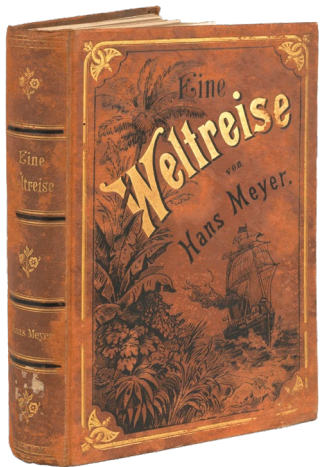
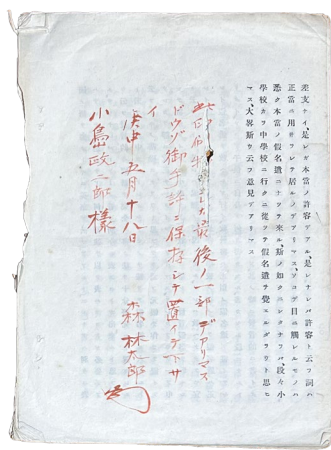
文京区立  
森鷗外記念館  
特別展

# 捧ぐ本を 鷗外と 献呈本

鷗外の居宅「観潮楼（現・当館）」は、妻・志げが「宅では本が筆筒を追い出します」とこぼすほど本が溢れていました（後藤末雄『鷗外先生を顧る』）。内容は文学、医学、哲学、歴史、自然科学、美術など多岐に渡り、鷗外が持つ豊かな知識はこの読書量に支えられていました。

蔵書には自ら買い求めた本以外に、鷗外に贈られた本——いわゆる献呈本も含まれています。北原白秋、木下杢太郎、石川啄木など若い文学者はそれぞれの著書に鷗外への敬慕をうかがわせる献辞を記し、評論家・内田魯庵や美術史家・大村西崖は鷗外が関心のある分野の本を贈りました。そうした現存する本には、鷗外が読み大切に保管した痕跡が認められます。一方鷗外も、夏目漱石や与謝野寛・晶子など信頼のおける文学者に自著を贈り、家族にも本をプレゼントしました。本の贈答は鷗外の若い頃から見られますが、活躍の場と人脈が広がると共に、その数も増えていったようです。

本展では、東京大学総合図書館の鷗外旧蔵書コレクション「鷗外文庫」を中心に鷗外に贈られた本を、そして鷗外日記や書簡をたよりに鷗外が贈った本を展覧します。蔵書を「最も大切にした」（森於菟『砂に書かれた記録』）という鷗外の、「（本）をとおしてうかがえる幅広い人物交流の様子をご覧ください。」



鷗外『**仮名遣意見**』  
私家版 明治41年 個人蔵  
仮名遣い改訂に対する鷗外の演説。大正9年（庚申）、文学者・小島政二郎に「最後ノ一部」を贈った。署名の下は鷗外の花押。展覧会初出品。

Hans Meyer, *Eine Weltreise* (世界旅行記)  
Leipzig, 1885  
ドイツ留学時代の友人で軍医のヴィルケより鷗外に贈られた。見返しに「Mori Rintaro kunniteiju」とローマ字で記されている。

石川啄木『**一握の砂**』  
東雲堂書店 明治43年 東京大学総合図書館蔵  
啄木の第一歌集。鷗外への献呈本には「森先生に捧ぐ 著者」と記されている。

## 関連講演会①

### 献呈署名本の世界

講師 川島幸希氏（秀明大学名誉学長、近代文学署名本コレクター）  
日時 5月17日（土） 14時～15時30分  
会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室  
定員 50名（事前申込制）  
料金 無料 ※参加票と本展覧会観覧券（半券可）が必要  
申込締切 5月7日（水）必着

## 講演会申込方法

往復はがき  
往信に「〇月〇日講演会」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〈〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係〉までご応募ください。

Eメール  
件名に「〇月〇日講演会」、本文に氏名（ふりがな）・電話番号・Eメールアドレスを明記の上、[bmk-event@moriogai-kinenkan.jp](mailto:bmk-event@moriogai-kinenkan.jp) にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
※ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

## 関連講演会②

### 鷗外献呈本に見る大逆事件

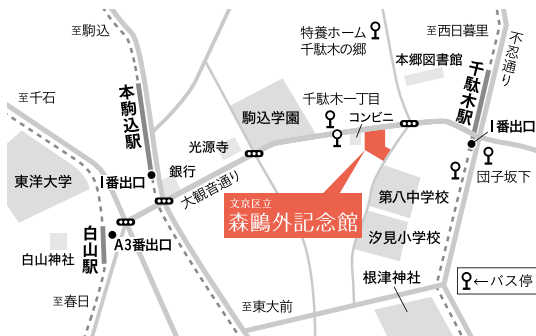
講師 坂井修一氏（東京大学副学長・附属図書館館長、歌人）  
日時 5月31日（土） 14時～15時30分  
会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室  
定員 50名（事前申込制）  
料金 無料 ※参加票と本展覧会観覧券（半券可）が必要  
申込締切 5月19日（月）必着

## ギャラリートーク

展示室にて当館学芸員が展示解説を行います。  
日時 4月23日、5月21日、6月18日  
いずれも水曜日、14時～（30分程度）  
申込不要、当日の展示観覧券が必要です。

## 文京区立森鷗外記念館

会期 2025年4月12日（土）～6月29日（日）  
休館日 4月22日（火）、5月26日（月）・27日（火）、6月23日（月）・24日（火）  
観覧料 600円（中学生以下無料）  
〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4  
TEL 03-3824-5511  
<https://moriogai-kinenkan.jp>



電車 ●東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分  
●東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分  
●都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分  
●JR線・京成線「日暮里」駅西口徒歩15分  
バス ●都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分  
●都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分  
●Bーぐる千駄木・駒込ルート  
「19特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分

※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

☕ モリキネカフェ 10:30～17:30（ラストオーダー17:00）

次回展示 コレクション展 小説『舞姫』を讀んでみよう! (仮) 2025年7月4日（金）～9月30日（火）

X (旧Twitter) @bunkyo\_moriogai | Instagram @moriogaikinenkan | facebook moriogai.kinenkan